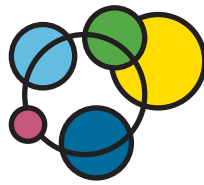


そわにえ
Soigner



第19号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2010年6月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17 (社)東京都看護協会内
TEL: 03-5229-1534 / FAX: 03-5229-1524
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX/

- ぼん・くらーじゅ……………①
- 総会報告……………②
- 看護フォーラム報告……………③
- 一日看護体験報告……………③
- ステーション紹介……………④
- 撮影秘話……………⑥
- 看護フェスタ報告……………⑦
- 編集後記他……………⑧



石垣島の夏

Q: 訪問看護ステーション (以下ST) の事業や在宅ケアについてのイメージや、会長自身の具体的な体験などがありましたらお聞かせください。

A: ST事業には携わったことはありませんが、教員時代に地域看護を担当していたので訪問看護の経験はある程度あります。当時は実習として学生を連れていくために、新宿区から高齢者と障害児のケースを預かり訪問看護を行っていました。保健師学校の学生時代には健康な新生児の訪問も行いました。

Q: STに対する将来構想についてお聞かせください。

A: STの運営や経営は必ずしもうまくいっていない現状もあるのではないかと思います。訪問看護を提供するしくみが整えられるよう制度がきちんとしていけば、結果として利用者さんの安定と安心につながります。在宅ケアが必要な人のニーズにしっかりと応えられるしくみを全体として整えていくことです。

Q: 東京訪問看護ステーション協議会への当面の取り組み姿勢についてお聞かせください。

A: 協議会の課題と役割を把握して、STが社会に貢献できる組織づくりを協議会として確実にしていくこと、協議会が理念に向かって皆で努力し、訪問看護の質の向上を図る事を推進していければ良いと思います。

Q: 出身地と看護師になった動機をお聞かせください。

A: 小学生の頃から高校卒業まで両親の出身地である高



新会長にインタビュー
社団法人東京都看護協会 会長 嶋森好子

知で過ごしました。高校で簿記や珠算の資格を取り、銀行から就職の誘いもありましたが、以前、姉から「看護師になりたかったけれどその当時は両親に反対されてしまった」という話を聞いていたこともあり、いろいろ考えて看護師になろうと決めました。

Q: 趣味や休日の過ごし方についてお聞かせください。

A: 京都大学に赴任する前までは10数年間程合気道をやっていました。こちらに戻ってきてからはまだ再開できていません。今は時間があれば散歩をしてデジカメで花や風景などのスナップ写真を撮ることが楽しみになっています。

Q: 最後に、会員の方々へのメッセージをお願いします。

A: 現在は在宅での医療ニーズもかなり高く、地域ケアの形そのものが変わってきています。そのようななかでSTは先駆的な役割を担っています。希望する人が最後まで在宅で過ごすことができるか否かはSTにかかっています。在宅での医療と介護の連携、新しい道筋をつくる開拓者と思ってがんばってほしいと思います。地域ケアの先導者として一緒にごんばりましょう。

お話を伺いして、会長の豊富な経験や訪問看護や協議会への熱い想いが伝わってきました。嶋森会長のもと事業が推進され、訪問看護のさらなる発展につながっていくことと思います。

(千駄木訪問看護ステーション・中川洋子)

Bon Courage

ぼん・くらーじゅ